

Bright Eyes

～たかまつでかがやくひと～

vol.15

毎日の餌やりと観察

小さなカマキリから教わったこと

カマキリのかわいくて好きなところは、自分の顔を鎌で搔くしぐさやくつろいでいる様子です。小学校2年生のときに見つけたカマキリを育てるようになって4年間、毎日の餌やりと観察を続けています。多いときは、約100匹のカマキリを飼育していました。知りたいことが出てくると、自分で調べたり、学校の先生に質問したり、東京の大学の先生に会いに行ったりしたこともありました。今はメールなどでやりとりをしています。

カマキリは肉食なので、アブラムシやバッタなどの生きた餌を食べます。そのためエサは、家の近くの草地から、採取しています。どのような餌を食べたかによって、カマキリの成長が変わり、食べた餌があまり良くないものだと、カマキリも消化不良を起こしたり、うまく成長できなかったりしました。その時に、大学の先生から、食物連鎖のことを聞き、わたしたちも含めて食べるものでつながっていることに気づきました。

将来は、虫のお医者さんとアナウンサーになりたいです。育ててみて、困ったこともたくさんあったので、そんな思いをすることがないよう、人に伝えることと、人と虫を助けることがしたいです！

今年の夏休みは、去年の秋に初めて成功したカマキリの孵化の様子の撮影などをまとめた“わたしのカマキリ大調査2021”を完成させる予定です。皆さんもぜひ夏休みに自然の中にある新しい発見とかわいい虫の仕草を探してみてください！



鶴尾小学校 6年

湯浅 萬尋さん

Yuasa Mahiro

小学2年生から5年生の4年間の研究の結果「わたしのカマキリ大調査」が、令和2年度高松市児童生徒科学賞(福家 皎賞)小学校の部で最優秀賞を受賞した。現在6年生となる今も、観察を続けている。



目指せ！
未来の
サイエンティスト

募集

高松市児童生徒科学賞(福家 皎賞)

「将来科学者になりたい!」という夢をもった児童・生徒が育つことを願って、高松市出身の工学博士 福家 皎氏より贈られます。

応募資格/小学4年~中学3年
(グループ研究もOK!)

詳しくは、学校の先生や市教育委員会
(☎839・2616)へお問い合わせください。

まちをもっと好きになる

広報 高松

7

July 2021